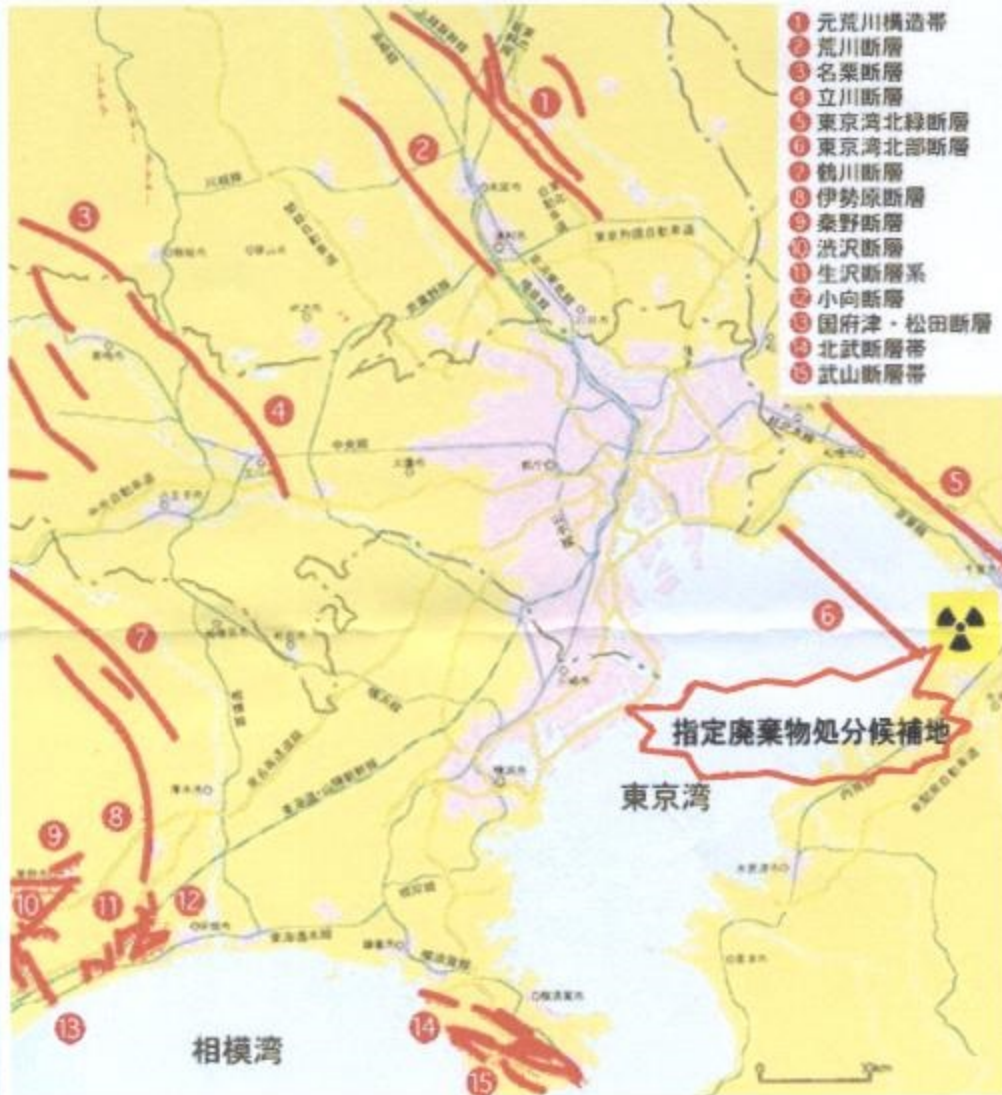


8,000Bq/kg以上の指定廃棄物が 千葉火力発電所敷地に？

1、活断層に囲まれた予定地は本当に安全なのか・・・？

今年になって地震が千葉県北西部から北東部にかけて頻繁に起きています。
この活断層が直下型の巨大地震として発生しないとは言えません。

私たちは、東電千葉火力発電所内への指定廃棄物処理場建設に**反対**する候補を応援します。



2、首都直下型地震で東京湾は大炎上する、時限爆弾の危険性

東京湾にはスロッシングの起きやすい浮き屋根式タンクが600基あります。

3、京葉工業地帯の工場は、大地震による液状化の危険大

東京湾の埋め立て地は歴史が古く、液状化に耐えられる構造にはなっていません。

4、予定地から3キロ以内に子供が通う公共施設や大型ショッピング施設

5、高級ノリ・潮干狩りなどの実被害及び風評被害への強い懸念

6、東京湾津波の危険性

7、焼却灰から放射性セシウムを取り出して減容化の検討を

放射能汚染から
子供を守る市原の会ニュース

No19

連絡先

0436-20-5332

e-mail

k-tokita@ozzio.jp

時田 孝二

事務局より
東京電力福島第一原子力発電所事故で発生した、放射性物質濃度1キログラムあたり8000ベクレル以上の指定廃棄物（ごみ焼却灰など）の処分場として、市原市に隣接する千葉火力発電所敷地内の提案が、環境省より提案されている。放射能汚染の怖さと共に、災害発生をも考えながら問題提起します。